

教育のつどい 2025 分科会「参加と共同の学校づくり」より

教育費の無償化と子どもの学び育つ権利

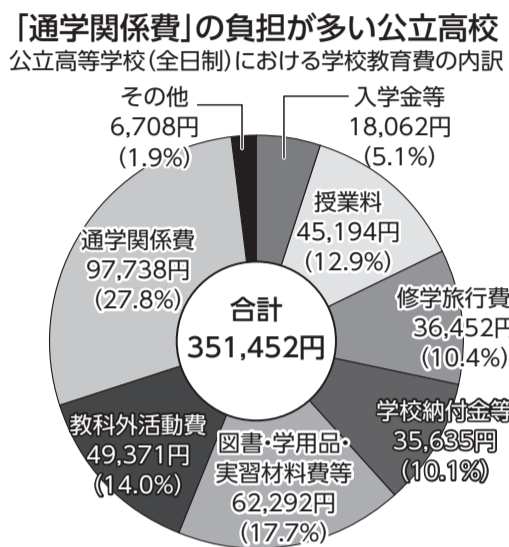
千葉工業大学准教授 福嶋尚子



「教育のつどい2025 in埼玉」(8月17、19日)の分科会「参加と共同の学校づくり」では、全国から子どもと教育に関わる教職員、保護者、市民が実践を交流しました。千葉工業大学准教授の福嶋尚子さんが「子どもの学び育つ権利を阻害する家庭の私費負担をどうするか」をテーマに参加者に討論を呼びかけました。要旨を紹介しします。

私費負担の重さは深刻

文科省「子供の学習費調査」(2023年)によると、家庭の学校教育に関する私費負担は給食費を除いても公立小学校で年間約8万円、公立中学校では約15万円、公立高校では約35万円もかかるなど、「隠れ教育費」とも呼ばれる私費負担の重さは深刻です。なかでも高校で最も大きな割合を占めるのが交通費や制服購入にかかる通学関係費(27.8%)です。



文部科学省「2023(令和5)年度子供の学習費調査」より作成

数万円単位でかかって負担が大きい「おきりの鍵盤ハーモニカ」ではじめられるから新品を買わざるを得ない、「不登校の子どもの制服や体操着……」次の制約や体操着……教育にかかると経済的負担が大きい。子どもの学習機会や社会的なつながりが奪われている事態も起きています。2014年9月、千葉県銚子市の県営住宅で母子家庭の母親が当時中学2年の娘を殺害し、自らも命を絶つとした痛ましい事件がありました。年収100万円の非正規雇用で働く母親が、生活保護を受給できず、娘の中学校入学に必要な制服や学校指定品の購入をきっかけにサラ金からの借金に追い込まれました。そして家賃の滞り、納められない私費負担を減らすことは、喫緊の課題です。

「無償化」で解決するのか？

日本国憲法第26条は「義務教育は、これを無償とする」と定めています。この無償性は単に授業料を取らないという意味ではなく、すべての子どもが学ぶために必要な条件を整える「公費保障義務」と、家庭の私費負担をなくす「無償化義務」の両方が含まれます。多くの政策は後者の無償化による「負担軽減」に偏り、前者の公費による「教育条件整備」が不十分であることを指摘してはげまされています。

子どもの権利を中心に

たとえば無償化で給食費を公費で補助しても、献立や食材の質を確保するしくみがなければ意味がありません。別々、栄養職員や給食調理員の人員費が削減され、働く人がいなくなれば本末転倒です。教材の無償化でタブレット端末を配布しても、通信環境やメンテナンスが保障されなければ活用できません。無償化で今よりも使える教材費が減ったり、特定の教材の使用義務が課されたり、教員の選定権限がなくなったりすることも起きるかもしれません。制服の無償化で、費用対効果が重視される心地の悪い服になったり、業者が「社独占」になったり、制服指図が過熱することもあるかもしれません。

ホットライン

三重

平和の鐘つき

津支部風知草班 斉藤年見「新婦人」に入会したら宮本百合子の『12年の手紙』を読む会と一緒に『12年の手紙』を一緒に読んでみたいという人の一言で約2年前に誕生した班です。『12年の手紙』を読む会、小組で、戦争への危機、平和、人権への危機、現在の情勢と重ね合わせながら1年半かけて読みました。2月からは、お出かけ小組を作り、パワーカー展を見たり、おいしいランチを食べたり、講演会に参加したりと月1回小組例会をしています。昨年からは地元のお寺の鐘つきに『平和の鐘つき』にとりくみ、6人で、広島に原爆投下された8月6日08時15分

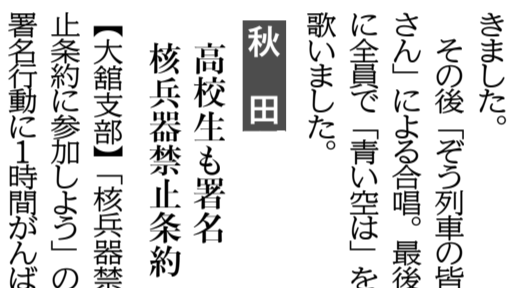


長崎の原爆の日に参加した群馬

群馬

平和の鐘つき

に平和の鐘つきをします。これからも平和の行動を広げて行きます。



長崎の原爆の日に参加した群馬

秋田

高校生も署名

【大館支部】核兵器禁止条約に参加しようの署名行動に1時間がらば



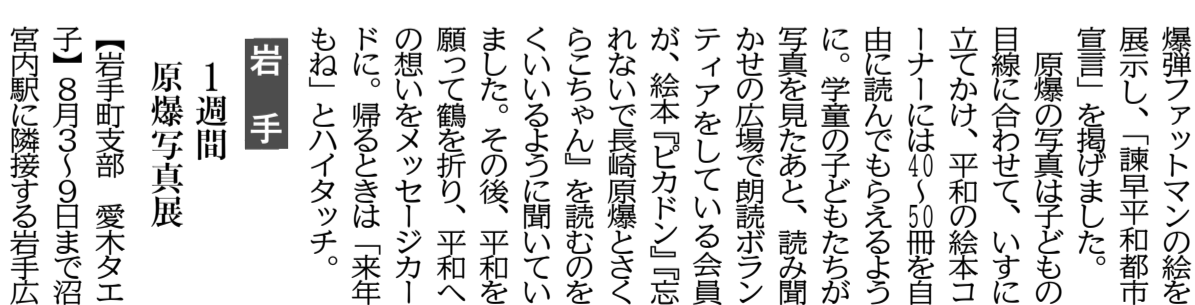
バスケット部の高校生と秋田

ホットライン

長崎

初めての平和のとりくみ

【諫早支部】入班村吉恵「7月21日、初めての平和のとりくみ(読み聞かせ、原爆の真実・高校生生の絵の展示、体験の広場)を校区の公民館で開きました。事前に班会で話し合いを重ね、近所にチラシを配り、学童保育所と打ち合わせし、当日を迎えました。展示コーナーでは、会場正面に、実物の原子爆弾の絵を展示し、体験の広場を朗読ボランティアをしてもらいました。その後、平和を願う想いをメッセージカードに。帰るときは「来年もね」とハイタッチ。

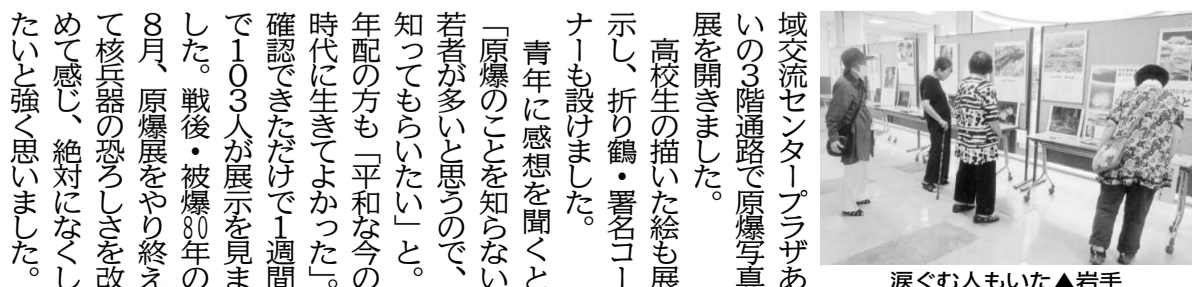


正面に原子爆弾の絵を▲長崎

岩手

1週間原爆写真展

【岩手町支部】愛木エ子「8月3〜9日まで沼宮内駅に隣接する岩手広



涙ぐむ人もいた▲岩手

香川

高校生の原爆の絵校内で展示

【小豆支部】中井清子「長年、小豆原水協との共催で原爆パネル展を開いてきたなかで、高校生が描いた『原爆の絵』の展示を考えた。島で唯一の高校、小豆島中央高校の校長先生と3年前の春に面談して話し合いを継続してきました。今年5月にはパネル



感想文も寄せられた▲香川

千葉

4班合同で「平和展」

【柏支部】石本亜紀子「8月3日、4班合同で『平和展』を開き、チラシを見て参加した若い男性、会場前を通りかかった人、中学生など立ち寄った。中学生など58人が訪れました。



来場者も体験を語った▲千葉

【佐久支部】井出由美子「8月17・18日に、佐久教育会館で開かれた『平和のための戦争展』に、給手紙小組の会員の給手紙が展示されました。会員の父親のシベリア抑留体験や、『満州』(中国東北)から母子4人で引き揚げて苦労した話など、いずれも実体験に基づいたリアルな内容で、多くの来場者が足を止めて見入っていました。



リアルな体験を給手紙に▲長野

岐阜

「山歩の会」で一泊旅行

【各務原支部】高見益子「月1回の山歩(さんぽ)の会で近くの山々を歩いています。年一回は一泊で出かけますが、今年は7月27・28日に、12人で長野の北八ヶ岳ふもとの『白駒の池』周辺へ。途中、諏訪湖を望む高台にある伊藤千代子顕彰の碑



宿でうれしい出合いも▲岐阜

東京

子どもたちと豆腐づくり

【新宿支部】四谷班 中垣のり「8月6日、四谷地域センターで豆腐作りをしました。講師8人がゲスト大人2人、子ども4人で、6組に分かれて調理。作業は順調に進み、黒豆入りご飯のおにぎり、産直野菜、手作りみそ汁、出来立てのおからで作った卯の花、きゅうりの漬物を準備。しかし肝心のお豆腐が固まらず大失敗。出来立ての豆腐にはみなさん満足。固まらなかった原因はわかりません。



お豆腐屋さんの苦労がわかった▲東京